

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(6)-イ	花と緑あふれる県土の形成	施策	① 県民一体となった全島緑化の推進
			施策の小項目名	—
主な取組	美ら島づくり行動計画推進事業(団体支援等)			
対応する主な課題	①森林、都市緑化、公園緑化など緑化の対象は広範囲に及ぶため、行政のみならず、地域住民、企業等との協働による県民一体となった緑化の推進が必要である。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
「緑の美ら島づくり行動計画」に基づき、県の各緑化施策を総合的に推進するため、緑化施策に資する企業等の緑化活動の支援を行う。また、優良花木等の増殖技術の普及を行う。		10件	10件	10件	10件	10件
		緑化活動団体の育成件数				
実施主体	県					
担当部課☐連絡先	環境部環境再生課		【098-866-2064】			
		企業等の緑化活動支援、優良花木等の増殖技術普及				

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名							R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画
主な財源	実施方法	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算額	R2年度決算額	R3年度決算見込額	当初予算額	主な財源	
—							—		OR3年度： 本計画に基づき、緑化施策に資する企業等の緑化活動の支援を行った。また、優良花木等の増殖技術の普及を行った。
		—	—	—	—	—			OR4年度： 本計画に基づき、緑化施策に資する企業等の緑化活動の支援を行う。また、優良花木等の増殖技術の普及を行う。
予算事業名							R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画
主な財源	実施方法	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算額	R2年度決算額	R3年度決算見込額	当初予算額	主な財源	
—							—		OR3年度： —
		—	—	—	—	—			OR4年度： —

様式1(主な取組)

活動指標名	緑化活動団体の育成件数(企業等の緑化活動支援等)				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	10件	10件	10件	12件	11件	10件	100.0%	0	順調	「緑の美ら島づくり行動計画」に基づき、県の各緑化施策を総合的に推進するため、緑化施策に資する企業等の緑化活動の支援(緑化技術講習会の開催等)を行った。また、緑化活動団体の支援を通じて優良花木等の増殖技術の普及を行った。
活動指標名	-				R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	-	-	-	-	-	-				進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
										緑化活動団体の支援を11件行い、計画以上に取り組むことができたことから順調とした。
活動指標名	-				R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	-	-	-	-	-	-				
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和3年度 of 取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> <li>緑化活動に関する技術書をインターネット等を通じて広く提供するほか、緑化技術講習会を継続して開催することによりインターネットでは伝えにくい情報を補完し、緑化活動支援の充実を図る。</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>北部、中部、南部、宮古、八重山の各地域において、継続して、緑化技術講習会を開催しているほか、インターネットを通じて緑化活動に関する技術書を県民に提供した。</li> </ul>				



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証 (Check)

#### (1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

##### ○内部要因

- ・ 緑化を推進するための部局横断的な取組が十分でない。

##### ○外部環境の変化

- ・ 緑化活動団体から、緑化技術の情報提供等による継続した支援が求められている。

#### (2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・ 緑化活動団体に対し緑化技術の情報提供等による支援を継続して行う。

### 4 取組の改善案 (Action)

- ・ 緑化活動に関する技術書をインターネット等を通じて広く提供するほか、緑化技術講習会を継続して開催することによりインターネットでは伝えにくい情報を補完し、緑化活動支援の充実を図る。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(6)-イ	花と緑あふれる県土の形成	施策	① 県民一体となった全島緑化の推進
			施策の小項目名	—
主な取組	全島みどりと花いっぱい運動事業			
対応する主な課題	①森林、都市緑化、公園緑化など緑化の対象は広範囲に及ぶため、行政のみならず、地域住民、企業等との協働による県民一体となった緑化の推進が必要である。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
緑化事業を県民一体となって推進するため、「沖縄県全島緑化県民運動推進会議」の開催や、企業等と協働で積極的に緑化活動を実施して、緑化活動を普及啓発し、民間への浸透を図る。						
実施主体	県、市町村等					
担当部課【連絡先】	環境部環境再生課 【098-866-2064】					
		行政、団体、企業等による緑化活動の支援				

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名 全島緑・花・香いっぱい運動事業							R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画
主な財源	実施方法	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	
県単等	委託	8,517	9,368	12,347	7,732	7,474	7,938	県単等	OR3年度： 全島緑化県民運動推進会議の開催。農林高校で生産した苗を学校や地域へ配布する花のゆりかご事業を実施。CO2吸収量認証制度で4件を認証。 OR4年度： 全島緑化県民運動推進会議の開催。花のゆりかご事業、地域環境保全推進事業、企業との協働による名所づくり、CO2吸収量認証制度の周知及び実施。
予算事業名 —							R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画
主な財源	実施方法	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	
		—	—	—	—	—	—		OR3年度： — OR4年度： —

様式1(主な取組)

活動指標名	行政、団体、企業等による緑化活動の支援				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	85	94	114	92	100	—	100.0%	7,474	順調	<p>「『一島一森』で花と緑の美ら島づくり」をスローガンに全島緑化県民運動の普及啓発及び県土緑化への積極的な参加を推進した。県民主体の継続的な緑化活動を支援するため、各種緑化活動を支援した。</p>
活動指標名	—				R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	—	—	—	—	—	—				進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
活動指標名	—				R3年度					<p>「沖縄県全島緑化県民運動推進会議」を開催し、県の緑化事業を総合的・横断的に推進するとともに、花のゆりかご事業等で、学校・地域住民等が行う緑化活動を支援することにより、県民主体による緑化活動が各地で実施された。全島緑・花・香いっぱい運動(100件)も前年度より増加するなど、順調に取り組むことができた。</p>
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	—	—	—	—	—	—				
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和3年度の取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・長期的な取組を実施する必要があるため、「沖縄県全島緑化県民運動推進会議」を継続して開催し、県民一体となった緑化活動に取り組み、県庁内部においては、緑化活動に対する認識を深め、横断的な取組につながるよう努めていく。</li> <li>・企業、学校、地域住民が行う緑化活動に支援を行い、緑化の意義や大切さの理解を広め、関心を高めていく。また、CO2吸収量認証制度の運用等を通して、企業の緑化活動を広くアピールし、更なる参加を促していく。</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>・「沖縄県全島緑化県民運動推進会議」を開催するとともに、県庁内部において、緑化活動に対する認識を深め、緑化行政を横断的に実施するため、緑化マトリックス会議を実施した。企業、学校、地域住民の緑化活動を継続的に支援し、緑化活動の普及啓発を図った。企業等による緑化活動の推進拡大を目指し実施している沖縄県CO2吸収量認証制度により、4事業者に対して、CO2吸収量の認証を行った。</li> </ul>				



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証 (Check)

#### (1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

##### ○内部要因

- ・緑化を推進するための部局横断的な取組が十分でない。

##### ○外部環境の変化

- ・開発や都市化の進展に伴い、都市周辺や郊外において、緑化活動に供することができる場所を探すことが難しくなっている。
- ・企業との協働による花の名所づくりにおいて、緑化活動に積極的に取り組む企業等が少ない。

#### (2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・更なる緑化の推進を目指し、行政主導型から民間主導型の緑化活動への転換を図るため、県民に緑化の意義及び大切さの理解を広めるとともに、住民参加による緑化を推進し、経済効果や地域振興へ繋がる取組を検討・推進し、緑化活動の気運を高めていく。

### 4 取組の改善案 (Action)

- ・長期的な取組を実施する必要があるため、「沖縄県全島緑化県民運動推進会議」を継続して開催し、県民一体となった緑化活動に取り組み、県庁内部においては、緑化活動に対する認識を深め、横断的な取組につながるよう努めていく。企業、学校、地域住民が行う緑化活動に支援を行い、緑化の意義や大切さの理解を広め、関心を高めていく。また、CO2吸収量認証制度の運用等を通して、企業の緑化活動を広くアピールし、更なる参加を促していく。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(6)-イ	花と緑あふれる県土の形成	施策	① 県民一体となった全島緑化の推進
			施策の小項目名	—
主な取組	緑化推進費			
対応する主な課題	①森林、都市緑化、公園緑化など緑化の対象は広範囲に及ぶため、行政のみならず、地域住民、企業等との協働による県民一体となった緑化の推進が必要である。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
緑豊かな住みよい環境づくりのため、沖縄県植樹祭、県学校緑化コンクール及び緑の少年団の育成・支援等により緑化推進運動を展開する。						
実施主体	県	植樹祭・緑化コンクールの開催				
担当部課【連絡先】	環境部環境再生課	【098-866-2064】				

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名 緑化推進費							R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画	
主な財源	実施方法	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	OR3年度： 各種コンクールや緑の少年団の育成指導等により、緑化の普及啓発を図った。	
県単等	直接実施	13,854	11,217	11,638	8,122	13,742	12,036	県単等	OR4年度： 各種コンクールや緑の少年団の育成指導等により、緑化の普及啓発を図る。	
予算事業名							R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画	
主な財源	実施方法	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	OR3年度：	
									OR4年度：	

様式1(主な取組)

活動指標名					R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要			
植樹祭・緑化コンクールの開催					実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B						
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B	13,742	概ね順調	<p>緑豊かな住みよい環境づくりのため、県植樹祭、学校緑化コンクール及び緑の少年団の育成・支援等を実施し、県土緑化の普及啓発に取り組んでいる。</p>			
	—	—	—	—	植樹祭・ 緑化コン クールの 開催	植樹祭・ 緑化コン クールの 開催	80.0%						
活動指標名					R3年度					実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B	<p>進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果</p>
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	—	—	—						
	—	—	—	—	—	—	—						
活動指標名					R3年度					実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B	
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	—	—	—						
	—	—	—	—	—	—	—						

(2) これまでの改善案の反映状況

令和3年度の取組改善案	反映状況
<p>・緑の少年団の取り組み紹介や新規団の結成などを積極的に支援するとともに、緑の少年団の体験交流学習会を引き続き実施する。</p>	<p>・緑の少年団の体験交流学習会については、新型コロナウイルスの感染症拡大防止の観点から中止となったが、緑の少年団の取り組み紹介など積極的に支援を行った。</p>





## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証 (Check)

#### (1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

##### ○内部要因

・県土緑化の重要性を普及啓発するための重要なイベント等であることから、今後も継続して開催していくために、次代を担う児童・生徒が積極的に参加するよう教育機関と連携した情報発信を図る。

##### ○外部環境の変化

・植樹祭で教育機関との連携や緑の少年団の育成指導などを行うことにより、県民へ緑化の重要性を普及啓発することにつながる。

#### (2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・時代を担う児童・生徒が積極的に緑化のイベント等に参加するように事前の広報を強化する必要がある。令和元年度に全国育樹祭が開催され、全国育樹祭の式典においては緑の少年団が様々な役割を担うことにより大会を盛り上げた。今後も引き続き、緑の少年団について県民への周知を図るとともに、多くの緑の少年団員が学ぶ機会を得られるよう緑の少年団体験学習交流会を実施する。

### 4 取組の改善案 (Action)

・緑の少年団の取り組み紹介や新規団の結成などを積極的に支援するとともに、緑の少年団の体験交流学習会を引き続き実施する。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(6)-イ	花と緑あふれる県土の形成	施策	② 都市、道路、郊外及び農山村の緑化
			施策の小項目名	○郊外及び農山村等の緑化
主な取組	美ら島づくり行動計画推進事業(団体支援等)			
対応する主な課題	①森林、都市緑化、公園緑化など緑化の対象は広範囲に及ぶため、行政のみならず、地域住民、企業等との協働による県民一体となった緑化の推進が必要である。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
「緑の美ら島づくり行動計画」に基づき、県の各緑化施策を総合的に推進するため、緑化施策に資する企業等の緑化活動の支援を行う。また、優良花木等の増殖技術の普及を行う。		10件	10件	10件	10件	10件
		緑化活動団体の育成件数				
実施主体	県					
担当部課【連絡先】	環境部環境再生課		【098-866-2064】			
		企業等の緑化活動支援、優良花木等の増殖技術普及				

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名							R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画
主な財源	実施方法	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算額	R2年度決算額	R3年度決算見込額	当初予算額	主な財源	
-							-		OR3年度： 本計画に基づき、緑化施策に資する企業等の緑化活動の支援を行った。また、優良花木等の増殖技術の普及を行った。
		-	-	-	-	-			OR4年度： 本計画に基づき、緑化施策に資する企業等の緑化活動の支援を行う。また、優良花木等の増殖技術の普及を行う。
予算事業名							R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画
主な財源	実施方法	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算額	R2年度決算額	R3年度決算見込額	当初予算額	主な財源	
-							-		OR3年度： -
		-	-	-	-	-			OR4年度： -

様式1(主な取組)

活動指標名	緑化活動団体の育成件数(企業等の緑化活動支援等)				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要		
	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B					
実績値	10件	10件	10件	12件	11件	10件	100.0%	0	順調	「緑の美ら島づくり行動計画」に基づき、県の各緑化施策を総合的に推進するため、緑化施策に資する企業等の緑化活動の支援(緑化技術講習会の開催等)を行った。また、緑化活動団体の支援を通じて優良花木等の増殖技術の普及を行った。		
活動指標名	-				R3年度					実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B
実績値	-	-	-	-	-	-	-					
活動指標名	-				R3年度					実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B
実績値	-	-	-	-	-	-	-	緑化活動団体の支援を11件行い、計画以上に取り組むことができたことから順調とした。				
(2)これまでの改善案の反映状況												
令和3年度 of 取組改善案						反映状況						
<ul style="list-style-type: none"> <li>緑化活動に関する技術書をインターネット等を通じて広く提供するほか、緑化技術講習会を継続して開催することによりインターネットでは伝えにくい情報を補完し、緑化活動支援の充実を図る。</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>北部、中部、南部、宮古、八重山の各地域において、継続して、緑化技術講習会を開催しているほか、インターネットを通じて緑化活動に関する技術書を県民に提供した。</li> </ul>						



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証 (Check)

#### (1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

##### ○内部要因

- ・ 緑化を推進するための部局横断的な取組が十分でない。

##### ○外部環境の変化

- ・ 緑化活動団体から、緑化技術の情報提供等による継続した支援が求められている。

#### (2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・ 緑化活動団体に対し緑化技術の情報提供等による支援を継続して行う。

### 4 取組の改善案 (Action)

- ・ 緑化活動に関する技術書をインターネット等を通じて広く提供するほか、緑化技術講習会を継続して開催することによりインターネットでは伝えにくい情報を補完し、緑化活動支援の充実を図る。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(6)-イ	花と緑あふれる県土の形成	施策	② 都市、道路、郊外及び農山村の緑化
			施策の小項目名	○郊外及び農山村等の緑化
主な取組	平和創造の森公園管理事業			
対応する主な課題	④郊外部では、良好な自然環境、営農環境と調和を図りながら集落景観の保全など魅力的な田園農住地域の整備を行う必要がある。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
多くの人々が緑に親しみ自然とふれあえる憩いの場、県民の健康増進及び自然学習の場として、利用者が潤いと安らぎを体感できる緑地空間の形成を図るため、平和創造の森公園内の緑化等の施設整備及び維持管理を行う。						
実施主体	県					
担当部課【連絡先】	環境部環境再生課 【098-866-2064】					
		平和創造の森公園の施設整備、維持管理、利用促進				

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名 森林公園管理事業費							R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画	
主な財源	実施方法	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	OR3年度： 園路橋の更新設計を行った。	
県単等	委託	8,208	16,836	1,898	3,867	3,323	13,249	県単等	OR4年度： 園路橋の更新工事、公園施設の点検調査、公園施設の修繕を行う。	
予算事業名							R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画	
主な財源	実施方法	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	OR3年度：	
									OR4年度：	

様式1(主な取組)

活動指標名	平和創造の森公園の施設整備、維持管理、利用				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	—	—	—	—	—	公園施設の修繕	0.0%	3,323	未着手	<p>多くの人々が緑に親しみ自然とふれあえる憩いの場、県民の健康増進及び自然学習の場として、利用者が潤いと安らぎを体感できる緑地空間の形成を図るため、平和創造の森公園内の緑化等の施設整備及び維持管理を行っている。</p> <p>進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果</p> <p>R3年度は、劣化した高圧ケーブル等の修繕工事を予定していたが、入札不調となり実施できなかったため、未着手とした。</p>
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和3年度の取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> <li>老朽化・劣化が見られる施設の維持修繕に継続して取り組み、利用者の利便性の向上及び園内の安全性の確保を図る。</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>腐食落橋した園路橋の更新設計を実施し、次年度には更新工事を実施予定のため、利便性の回復が見込める。</li> </ul>				



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証 (Check)

#### (1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

##### ○内部要因

・ 平和創造の森公園は供用開始してから20年以上が経ち、施設の随所に老朽化・劣化が見られる。

##### ○外部環境の変化

・ R1年12月に全国育樹祭が開催されたことから、お手植え木をはじめ、公園の利用頻度が増えることが予想される。

#### (2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・ 公園利用者に安心して快適に過ごせるよう、老朽化・劣化が見られる施設の維持修繕に継続して取り組むことが必要である。

### 4 取組の改善案 (Action)

・ 老朽化・劣化が見られる施設の維持修繕に継続して取り組み、利用者の利便性の向上及び園内の安全性の確保を図る。